

# KOMAZAWA x Connect Konnnect



駒大で、  
つながる知・人・想い

## INSIDE Konnect

- ▶“もっと駒大” 情報サイト 駒大 PLUS α
- ▶KOMAZAWA CROSS [入学センター] × [KPS]
- ▶駒澤日和 [文 × 武]
- ▶支援の達人。「キャリアセンター編」
- ▶いまの“悩み・心配”はどのタイプ？ キャリア相談チャートで動きだそう

VOL.  
357

“もっと駒大”情報サイト

# 駒大PLUS

アルファ

駒澤大学の情報サイト「駒大PLUS」が生まれ変わりました。

駒大を「もっと好きになろう」「もっと楽しもう」をコンセプトにした

リニューアル第1弾では5本の最新記事を掲載。

どの記事も、躍動する駒大のいまを伝えています。

くわしくは「駒大PLUS」で。

<https://plus.komazawa-u.ac.jp>



駒大PLUS

file:001

村松哲文学長

## インタビューで語った「大学はカレーライス」!?

2025年4月に就任した村松哲文学長は、学内外に向けた最初のメッセージで、「駒澤大学を『誰からも愛される大学』に」と宣言しました。専門の仏教美術では、書籍の出版やテレビ出演を通して、仏像や仏教絵画の鑑賞法をわかりやすく伝えてきた村松学長。「駒大PLUS」のインタビューでは「誰からも愛される大学」の真意を語りました。



種月館3階に、仏像の鑑賞法を村松学長が解説したパネルを展示中

Editor's Eye



学長就任後も授業やゼミを受け持つ村松学長。理由は「学生目線を見失いたくないから」。「誰からも愛される大学」を目指す上でも、学生の視点や発想に期待を寄せています。



もっと知りたい人はこちら▲

01

file:002

文学部社会学科 鬼塚香ゼミ

## 日曜のキャンパスで、子どもたちとおにごっこ

梅雨入り直前の日曜日、子どもたちが駒沢キャンパスを駆けまわりました。「大学でおにごっこをしたい」という子どもの望みをかなえようと、鬼塚ゼミが奔走。大学と交渉しエリアやルールを決め、90人の子どもを迎えました。「どうせやるなら本格的に」と、人気テレビ番組を参考にした「逃走中@駒澤大学」が実現されるまでを明かすインタビューです。



「90人の子どもを、ハンターに扮した40人の学生が追跡」と鬼塚准教授

Editor's Eye



駒沢キャンパスがおにごっこの遊び場になったのは、駒澤大学が開校してから初めてかも？ 地域に溶け込む大学の、先駆的な取り組みとして語り継がれるかもしれません。



もっと知りたい人はこちら▲

02

file:003

## 経営学部市場戦略学科 小野瀬拓ゼミ 台湾でのプレゼン大会でゼミ生が第1位に

台湾の古都・台南市の伝統文化をSDGsとつなげてPRし、まちをブランディングするプレゼンテーション大会で、小野瀬ゼミの3年生と台湾人学生のグループが第1位を獲得しました。快挙の裏側では、現地の学生と言葉で十分な意思疎通が図れないという苦労も。絶体絶命の逆境を、学生たちはどのように克服したのでしょうか。



第1位を獲得したプレゼン大会のポスターの前で



小野瀬ゼミでは、情報やデータを視覚化するインフォグラフィックを学んでいます。快挙をもたらしたビジュアル表現は、ふだんの学びを実践に活かした好例といえそうです。



もっと知りたい人はこちら▲

03

file:004

## 全学部必修科目「仏教と人間」 仏教は駒沢大学の“アイデンティティ”

駒大の全学生が履修する「仏教と人間」は、宗教全般について理解を深め、仏教の教義や文化を学びながら、人間とは何かを考えていく駒大アイデンティティに根ざした科目です。「ご先祖様とは何なのか?」「宗教が戦争につながるケースとは?」など、仏教学部教員によるわかりやすい話で、仏教をより身近に感じられるはず!



「仏教と人間」では、年に一度、坐禅実習が行われる



1年間のハイライトは坐禅実習。自分自身と向き合う「只管打坐(しかんたざ)」は、デジタル・デトックスという観点でも、今を生きる私たちに必要な体験となるでしょう。



もっと知りたい人はこちら▲

04

file:005

## 坐禅堂とは? ~駒沢キャンパスで「禅」集中~

禅研究館4階に本格的な坐禅堂があるのをご存知ですか? 坐禅堂とは、禅宗の僧侶が修行する道場のこと。キャンパスに坐禅堂がある大学は他にほとんどありません。「坐禅」は駒大の必修科目「仏教と人間」でも年に一度行われるので、駒大生であれば全員が坐禅を経験します。学生生活の中で坐禅をする意義について、仏教学部禅学科の松田陽志教授に聞きました。



「坐禅」の授業風景。「ひたすら」自分と向き合う90分



仏教学部以外の全学生が履修できる選択科目「坐禅」は受講希望者多数の人気科目。駒大で最も静かな教場、坐禅堂をピックアップしています!



もっと知りたい人はこちら▲

05

# 駒澤大学の魅力はちゃんと伝わっているか!?

[入学センター] 齋藤勇希さん × [KPS] 徳井知里さん、安村拓真さん

KPS(Komazawa Promotion Staff) は、オープンキャンパス(OC)などのイベントで駒澤大学を紹介する学生ボランティア団体。今回は、全国で学生募集広報を行う齋藤勇希さん(入学センター職員)とKPSの徳井知里さん(法律学科3年)・安村拓真さん(経営学科2年)が、それぞれの目線と経験から「駒澤大学はどこまで知られているか?」について語り合います。



入学センター職員  
さいとう ゆうき  
齋藤 勇希さん

入学センターに在籍して2年目。全国の高等学校や各地で開かれる大学説明会で、駒澤大学を紹介してまわる。

経営学部 経営学科2年  
やすむら たくま  
安村 拓真さん

高3で初めて上京してOCに参加。KPSの対応のおかげで楽しめた経験から、入学後は支える側になろうとKPSに参加。

法学部 法律学科3年  
とくい ちさと  
徳井 知里さん

OCに参加した際、母から「知里に向けている」と推されKPSに。参加後「やって良かった活動」と満足している。

※OC=オープンキャンパス

## 駒澤大学は高校生や保護者にとって有名?

**安村さん** オープンキャンパスで高校生や保護者と話すと、駒澤大学が有名であることがわかります。一方で中身は十分に知られていないとも感じていて、伝え方を工夫しなければと思います。

**徳井さん** 私も同じことを感じていて。駒澤大学を紹介して「そうだったんですか!」「初めて知りました!」と驚かれると、ちゃんと知られていないんだなと思います。でも、そういうときこそアピールして、印象に残すチャンスだと考えています。

**齋藤さん** 各地で本学を紹介すると、ワンキャンパスであることや仏教系大学であることを初めて知ったと言われることも。大学名は知られていることが多いのですが、そこから一歩踏み込んだことをどのように知ってもらうかは常に課題ですね。

## 伝えやすいこと 伝えにくいこと

**徳井さん** 駒沢キャンパスで学生生活を完結できる便利さと、手軽に渋谷に行ける立地の良さは私自身が感じているため、人に伝えやすいです。

**安村さん** 私が思う魅力は、全学部の学生が仏教を学べること。仏教学部でなくても坐禅を体験できたり、キャンパスにお地藏さんや仏像が祀られていたりして、仏教が日常にある雰囲気も好きです。教義を深く理

解したり信仰したりするわけではありませんが、日本の伝統的な思想に触れた経験は、社会に出てから価値が現れる気がしています。

**齋藤さん** 私の場合、ワンキャンパスであることと立地の良さを最初に紹介します。「渋谷まで3駅」と言うと、うつぶいていた高校生まで視線を向けてくれるので、話の「つかみ」にもなるのです。仏教系大学であることは、魅力というより駒澤大学らしさとして伝えるようにしています。

**徳井さん** 大学の施設や設備は、実物を見てもらえるので伝えやすい。一方で伝えにくいと感じるのは、学部や学科について。例えば法学部を紹介するために刑法の授業の面白さを伝えても、反応が鈍いんです。そこで高校生も知っていそうなニュースと関連付けて、法学部の学びを伝えるようになりました。授業の実際をそのまま伝えるより、世の中の話題などに回道をした方が、高校生は関心を向けてくれますね。

**安村さん** 経営学部の紹介でも同じで、専門用語を使った紹介は、高校生が読み解けていないように思います。ですから徳井さんのように高校生目線で具体例をあげ、例えば身近な商品やサービスを通じてマーケティングを説明するなど、わかりやすい表現をするように努めています。

## 伝える立場になって 気づいた魅力とは?

**安村さん** 有名大学であることや伝

続があることは、強い「武器」ですね。授業などで周辺地域の施設や店と関われるのも、知名度と140年以上の歴史があるからだと思います。

**徳井さん** KPSに参加してからは、歴史や駅伝の活躍だけでなく、いろいろな面で名前が知られていることを、人に伝えられるようになりました。

**齋藤さん** 広報活動を通して駒澤大学を愛する「駒澤Lovers」がたくさんいることに気づきました。

**徳井さん** いいですね、駒澤Lovers!確かに高校生と話すと、駒澤大学に関心を持つ人が大勢いることがわかります。KPSで高めた発信力を活かして、駒澤Loversをもっと増やしていきたいですね。

**安村さん** 高校生に「インスタ見ました」と声をかけられると、やる気が増します。これからも情報発信に最適なSNSを見極め、駒澤大学の魅力を伝えていきたいと思っています。

**齋藤さん** KPSの活躍を今後も期待します。私たちも最適なツールの活用や表現の工夫に努めるので、ぜひ一緒に、駒澤大学の多様な魅力を広く伝えていきましょ。

## 駒澤大学入学センター 公式Instagram

KPSのメンバーが、高校生向けに駒澤ライフを伝えていきます。PRのより良いアイデアを、ぜひご提案ください。



# 駒 | 澤

Vol.1

# 日 | 和

KOMAZAWA DAYS

文 × 武

国際舞台で活躍する駒大生アスリートの  
キャンパスライフと学びを紹介



## ボクシング

経済学部 経済学科3年  
(ボクシング部 所属)  
やまぐち るい  
山口 瑠 さん

### Profile

中学時代にキックボクシングからボクシングに転向。2024年全国日本ボクシング選手権大会フライ級優勝。ロス五輪出場を想定し55kg級に階級を上げた2025年は、大学生で唯一の世界選手権代表に選ばれた。

成長できる環境で練習を重ね  
目指すはロス五輪金メダル

競技と学びを両立させる理由は？

ボクシング部の朝練で、私の一日は始まります。私にとってボクシングとは全身表現。そして努力の大切さを教わり成長を促してくれる人生の先生でもあります。駒澤大学という競技に全力を尽くせる環境で、2028年に開催されるロス五輪での金メダル獲得を目指して練習に励んでいます。



経済学部で得た、状況の的確な分析、感情に流されない合理的な判断、戦略の冷静な組み立てといった学びが、ボクシングと共通していることに気づきました。学びにより培ったこれらの力は、試合の大事な局面で私を支えてくれます。私には、スポーツが持つ力を経済や社会に結びつけたいという夢があります。ボクシングと同じくらい日々の学びに力を注ぐ理由は、その夢を実現に近づけるためです。

## バトントワーリング

法学部 法律学科4年  
いけだ  
池田 りずむ さん

### Profile

ジュニア時代から国内外の大会を制覇。シニアの部に参戦後も活躍を続け、2025年は全日本バトントワーリング選手権大会の女子スリーバトンでグランプリ、IBTF世界テクニカルバトントワーリング選手権大会で同種目の第1位を獲得した。

3歳で始め一緒に育ってきたバトンは、私の毎日になくってはならない生活の一部といえます。ワンキャンパスで他学部の学生との交流に魅力を感じ駒澤大学へ入学。2025年はイタリアのトリノで開催された世界大会で第1位を獲得できました。



法律学科での学びを  
バトントワーリングにも活かせる？

法律学科は、条文や判例、学説など覚えることがたくさんあり、一度で理解できないことも少なくありません。そのようなときに少しずつ身につけたり、何度も学び直したりする継続力は、バトンの練習を通して育まれたものです。また優先順位をつけて練習や課題に取り組むことで、限られた時間を有効に使うよう心がけていることも、バトンと学びの両方に共通しています。

トリノで開催された  
世界大会で第1位を獲得



## 駒澤大学課外活動支援募金(サークル指定)

学生たちは、日々、たゆまぬ努力を続けています。仲間とともに目標に向かい、感動を共有する時間は、大きな成長につながります。本募金は、皆さま方のご支援を直接、指定のサークルにお届けすることができます。ご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。



詳細はこちら▲

# 支援の達人。

## 01

### キャリアセンター編

「卒業まで」と「卒業後」を一緒に考えましょう



INTERVIEW  
キャリアセンター職員  
キャリアコンサルタント  
やまぐち かいき  
山口 魁紀 さん

人事部を経て、2022年度よりキャリアセンターに配属。進路相談の対応のほか、各種講座や他大学連携プログラムなどの企画・運営、「駒キャリ」の導入に注力。2025年度からは、業界研究イベントの企画・運営と公務員講座の運営を主に担当。駒澤大学体育会ラグビーフットボール部の副部長でもある。

#### キャリアに関する あらゆる相談に対応

キャリアセンターでは、卒業後のキャリアに関するさまざまなご相談をお受けしています。実際のご相談の大半は就職について、特に就職活動に関連したことです。「卒業後のキャリア」ですから、大学院進学や留学を計画されている学生についても、修了後や帰国後の就職についてお話しできます。また家業を継がれる方や起業を目指す学生も、ぜひお気軽にお越しください。

1・2年生の方は卒業後のイメージがまだ湧きにくいかもしれませんが、明日からの学生生活をどのように過ごすかなど、卒業までを考えるきっかけになれば嬉しく思います。相談内容がまとまっていなくても、悩みがぼんやりしていても構いません。卒業後のことがふと頭をよぎったときや、気持ちが将来に向かないことに不安を感じたときも、その気持ちのまま、ぜひキャリアセンターに立ち寄ってみてください。

#### まずはスタッフに 会いに来てほしい

キャリアセンターとはどのようなところか、どんなスタッフが応対するのかなどを確認したいという方も、足を運んでほしいと思っています。キャリアセンターには、十数名のスタッフが常駐しています。対話を重ねていくうちに、定期的に近況を報告してくれるたり、あいさつだけでも訪ねてくれる学生もいます。髪の色を変えたことを伝えるに来てくれた方もいました。それは、「就職活動に全力で取り組み始める」ことの決意表明でした。印象を変えたあとのときの学生をいまでも覚えていきます。このような些細な変化や頑張りを気軽に話せる、信頼関係や日常的なコミュニケーションを大切にしています。

#### 「楽しい」と思えるよう 後押しをします

私が学生と接する際に心がけているのは、「キャリアや将来を考える

ことは楽しい」と思ってもらえるよう後押しをすること。「楽しい」という想いは、思考や行動を進める原動力になると考えているからです。キャリアセンターでは、さまざまなスタッフがみなさんの来所をお待ちしています。あなたに合う相談相手を見つけない、ぜひ一度お立ち寄りください。



個別相談ブースがリニューアル!

リニューアルした個別相談ブースでは、落ち着いた環境のなか安心して相談できます。キャリアセンターでは全学年を対象に個別相談を行っており、事前予約なしで気軽に利用できます。ただし、夏季など一部の期間は予約が必要です。

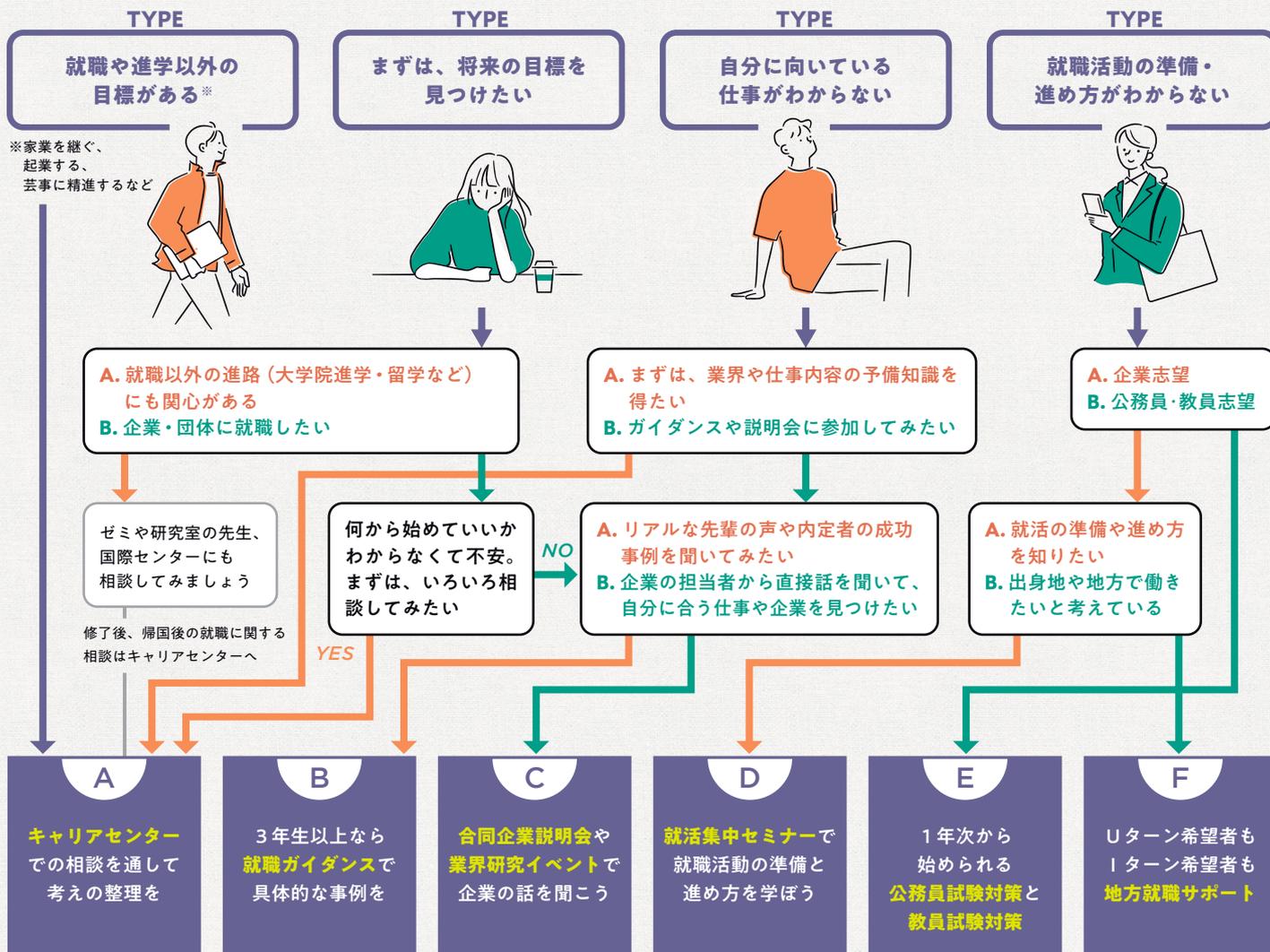
【キャリアセンター 駒沢キャンパス1号館1階】

●開室時間 平日9時～18時/土曜9時～12時 ※資料室利用とともに予約不要 ●相談対応 平日9時～16時30分

# いまの『悩み・心配』はどのタイプ？ キャリア相談チャートで動きだそう

— A or YES  
— B or NO

いざというとき、頼れるのは“情報と人”。でもその第一歩って、けっこう迷うもの。そんなときは、駒大版“キャリア相談ナビチャート”でタイプ診断。



**A**

### キャリアセンター窓口／資料室

卒業後の進路について考えたいとき、まず訪ねてほしいのがキャリアセンターの窓口。ここでは、学生一人ひとりに合わせた個別相談を大切にしています。志望先選びや就職活動に関する悩み・不安を気軽に話していただき、一緒に今後の道筋を考えていきましょう。窓口では資料室の利用や最新の情報も案内していますので、ぜひ活用してください。



資料室では、進路・就職に関する資料や問題集、新聞・雑誌、会社セミナー案内等が開室中いつでも閲覧できます。

**B**

### 就職ガイダンス

3年生を対象に、企業の採用活動のペースや各時期に合わせたテーマで、採用コンサルタントや就活を終えた4年生が講演し、次の具体的な道筋を示します。

**C**

### 合同企業説明会 業界研究イベント

駒澤大学の学生を積極的に採用したい企業が参加し、駒沢キャンパス内で毎年400社を超える企業・団体の説明を聞くことができます。行政団体を招いた公務員合同説明会も例年明けに開催しています。

※参加対象を卒業年度で制限する場合があります。

**D**

### 就活集中セミナー

自己分析、エントリーシートの書き方、面接やグループディスカッションの取り組み方など、就職活動に直結する実践指導を行います。

**E**

### 公務員試験対策 教員試験対策

公務員試験、教員採用試験を受験する学生を対象に、各試験の対策講座を開講します。公務員向けは1年次から受講可能です。

**F**

### 地方就職サポート

U・Iターン就職やインターンシップに関する説明会・ガイダンスを開催しています。また道府県別の個別説明会は、地元から担当者が参加する貴重な機会となっています。

**もっと知りたい!!**

### キャリアセンター

キャリアセンターの詳細は下のQRコードから確認できます。さまざまな分野で活躍する先輩たちの生の声が掲載された「櫻～先輩の足跡～」が特におすすめです。

キャリアセンターの詳細はこちら⇒



# KOMAZAWA SCENE

この1枚が、今日の駒澤。



駒澤大学 学園通信 [コネクト]

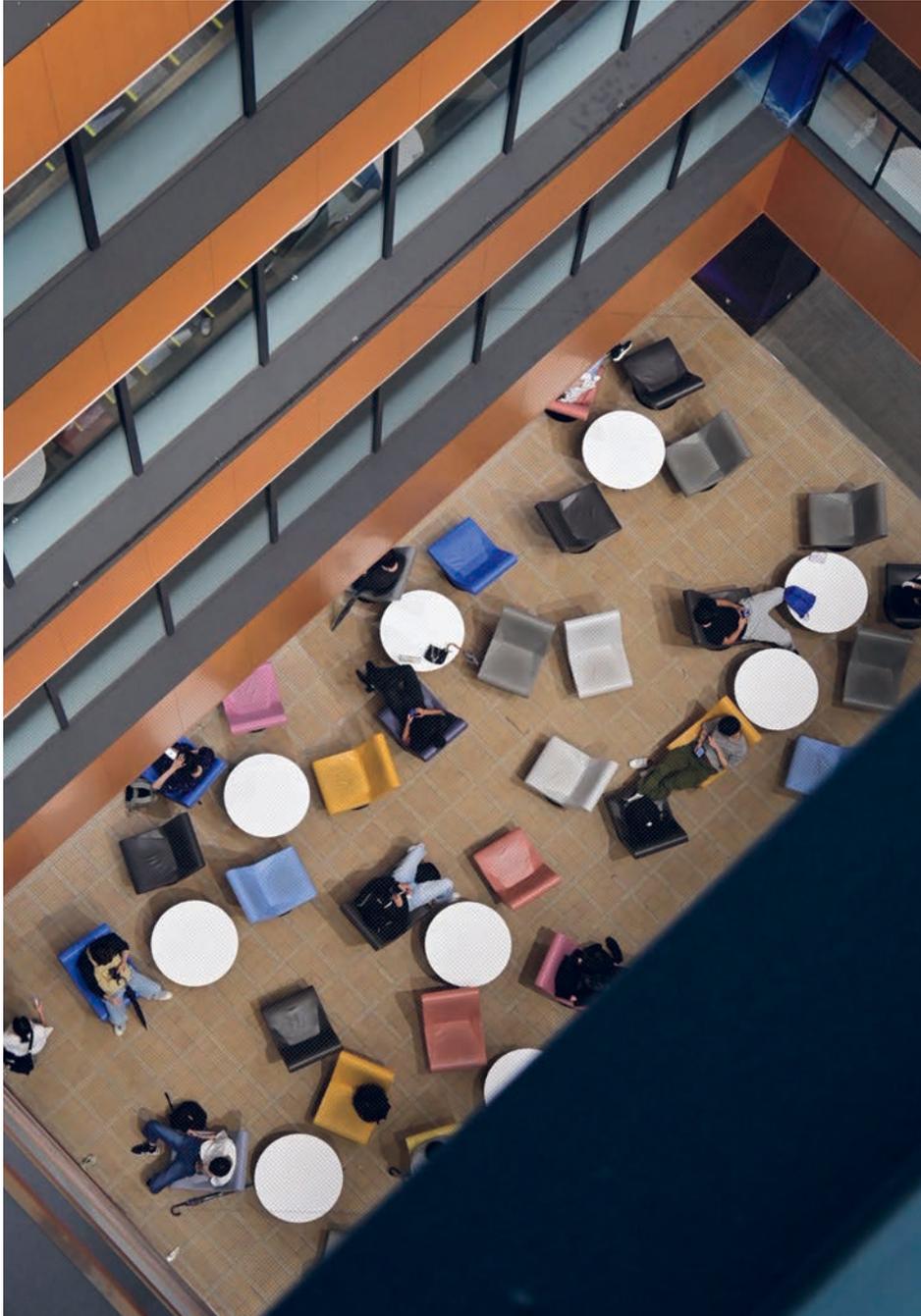
no.357 [2025年9月30日発行]

発行所:駒澤大学 広報戦略室 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1

TEL:03-3418-9828

FAX:03-3418-9776

<https://www.komazawa-u.ac.jp/>



## 写真美術部

写真美術部(KNAP)は、撮影会や展示会を通して月に1回の頻度で活動している駒澤大学公認サークルです。初心者や未経験者からでも安心して参加でき、写真やカメラの魅力を楽しめます。



■ 作品タイトル 「点と線のあらい」

■ 作品のねらい 規則的な建物と偶然がつくる人の日常の模様を、点と線として切り取りました。

■ 撮影日時 2025年6月10日(火)

■ 撮影地 駒澤大学 種月館

■ 使用カメラ NIKON Z fc

■ 使用レンズ NIKKOR Z DX 16-50mm f/3.5-6.3 VR

■ 設定 ・絞り(F値):f/6.3 ・シャッタースピード:1/30秒  
・ISO感度:1000 ・焦点距離:75mm

## 『Konnect』とは?

KOMAZAWA × Connect の想いを込めたネーミングです。「学生同士」「学生と教職員」「大学と地域・社会」など、駒澤大学を起点に、学内外で広がる多様なつながりを紹介します。

読者アンケートにご協力ください

『Konnect』をご覧いただきありがとうございます。今後のコンテンツづくりの参考のため、右記QRコードより皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

アンケートはこちら

